

あいさつ

本校は、明治6年6月22日、葉鹿小学校として開校して以来、本年6月で創立147年目を迎えます。その間、行政の上では、葉鹿町立の時代や坂西町立の時代を経て、昭和37年に足利市立葉鹿小学校となり現在に至ります。

本校の位置する葉鹿地区は足利市の西部にあり、北は山地に囲まれ、東に松田川、南に渡良瀬川が流れる自然の豊かな土地柄です。近年は、田畑の宅地化や中規模店舗の進出等、都市化の傾向を呈してきています。地域の方々の学校に対する大きな期待と熱い教育愛に支えられ、葉鹿小学校は、地域のなかで長い歴史と伝統を築いてきました。わたしたちは、地域とのつながりを強く意識して、本校の教育を発展させていかなければならないと考えています。

さて本年度は、2020年度に控えた「新学習指導要領全面実施」への移行期2年目を迎えます。これまでの取組を振り返り、新学習指導要領への円滑な移行を実現するうえで重要な意味をもつ1年となります。「社会に開かれた教育課程」や「カリキュラム・マネジメント」、さらには「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善など、新学習指導要領の柱となる趣旨について、本校がこれまでに取り組んできたよりよい実践をさらに進めるとともに、さらに深い理解と学校全体での意識の共有を図っていかなければなりません。これらのことが、本校学校教育目標「自ら考え、進んで学習する子」「思いやりがあり、協力しあう子」「健康で明るい子」の具現に確実に結びついていくよう、毎日の教育活動を計画し、そして実践していくことが大切であると考えます。

そのためにも、教師一人一人がその資質・能力の向上を目指し学び続ける集団、同僚性を発揮しながら協働する集団「チーム葉鹿」として心一つになり、組織体として教育活動が生き生きと展開されることが大切です。全職員の協調と創意工夫により、子どもたちにとって「明日が待たれる学校」の創造に日々努力していききたいものです。

平成31年4月1日

足利市立葉鹿小学校長

池山勝幸